



野田村と最後の任意合併協議会で解散が決まった後、集まった関係者らの前であいさつする深渡宏村長

野田 普代 任意合併協議会が解散

今後の方向性を早急に模索

第七回野田村・普代村任意合併協議会（会長・中川正勝野田村長）は六月八日、野田村生涯学習センターで開かれ、五月二十三日、野田村の住民投票の結果を受け、両村の任意合併協議会の解散を決定しました。これにより、野田村との合併は、白紙となりました。今後、村では村民の皆さんに情報提供し、村議会とも十分相談しながら、早い時期に方向性を決める方針です。

情報を共有し、皆で決断を

同協議会は、委員三十人中、二十六人が出席しました。

ました。

協議会の解散について、村の委員からは「最初に住民の意思を確認してこそ合併は成り立つ。非常に残念です」「法定協議会からもう一度できる。考え直せないか」などの意見が出されました。

最後に、深渡宏村長は「この協議会は両村民の総意を元に設立され、よりよい新町を目指して努力してきたが、こういう結果になり残念でなりません。今後は、村議会、村民の皆さんと協議しながら、進むべき道を決めたい」とあいさつしました。

中川正勝野田村長は解散について、普代村との合併での住民投票の結果を改めて説明し、「この協議会を設立したこと、そして、決定されたことは、今でも重いものであると確信している。普代村の村民の皆さんにはおわびをしなければならぬ」と陳謝する場面もあり

野田村との合併が白紙になった今、村では、残された選択肢を村民の皆さん、村議会議員の方々と情報を提供し合い、共に考え、「市町村合併」というこの大きな壁を乗り越えていかなければなりません。合併は普代村に住む皆さんが決めることです。